

---

## グリーンマテリアルフォーラム：「鉄鋼製品の省エネルギー貢献とその評価」シンポジウム開催案内

---

日本鉄鋼連盟では、1997年頃に「LCA的視点からみた鉄鋼製品の社会における省エネルギー貢献に係る調査」を先進的に実施され、鉄鋼製品の社会における省エネルギー貢献量を評価されてきました。また、温室効果ガス削減対策の自主的取り組みとしても3つの柱のうちの1つに、鉄鋼製品の社会における省エネルギー貢献を目指して来ています。2009年から川崎市において、川崎ブランド事業を実施し、2013年からは川崎メカニズム事業として、市域内の製造業が生産あるいは研究開発した環境技術が、川崎市域外で省エネルギーに貢献した量を評価、表彰する制度を始めました。2013年には、化学工業会にて、GHG排出削減貢献に対する意欲的な取り組みと題して、算定・報告ガイドラインを公表されています。このような時流の中で、日本鉄鋼協会において、現在の関係機関の取り組みを紹介し、今後の取り組みに向けて議論したいと思っております。多数の方々のご参加をお待ちしております。

**1. 日時：**2014年9月25日(木)13:00～17:00

**2. 場所：**第168回秋季講演大会 第7会場(IB電子情報館 中棟1階IB013)

**3. プログラム：**

13:00～13:05

開会の挨拶                      グリーンマテリアルフォーラム座長 片山英樹 (物材機構)

座長：醍醐市朗 (東大)

13:05～13:35

「COP19からCOP21に向けて」

足立芳寛 (機械振興協会 技術研究所長)

13:35～14:05

「鉄鋼業の地球温暖化対策への取り組み」

手塚宏之 (日本鉄鋼連盟・JFE スチール)

14:05～14:35

「化学産業におけるGHG排出削減貢献量算定のグローバルガイドライン」

笠井 清 (化学工業協会)

座長：片山英樹 (物材機構)

14:50～15:20

「低 CO<sub>2</sub>川崎ブランド・川崎メカニズム認証制度」

齊藤武弥（川崎市環境局地球環境推進室）

鶴田祥一郎（一般社団法人産業環境管理協会）

15:20～15:50

「低 CO<sub>2</sub>川崎ブランドの J F E スチール京浜における事例」

天笠敏明（J F E スチール）

15:50～16:20

「鉄鋼業におけるライフサイクルインベントリの考え方」

小野 透（日本鉄鋼連盟・新日鐵住金）

16:20～16:50

「素材による環境負荷削減貢献量の評価」

醍醐市朗（東大）

16:50～17:00

閉会の挨拶

片山英樹（物材機構）

**4. 参加費:** 1,000 円

**5. 参加申込:** 事前申込不要

**6. シンポジウム資料:** 当日会場で USB メモリーにて配布

**問い合わせ先:**

物質・材料研究機構 材料信頼性評価ユニット 腐食解析グループ

〒305-0047 つくば市千現 1-2-1

片山 英樹（かたやま ひでき）

TEL: 029-859-2000（代表）

E-mail: KATAYAMA.Hideki@nims.go.jp